

## 評価基準

評価項目			評価基準	配点 (190点)
能力評価 (45点)	実施体制等	実施体制	同種、類似業務に関する知識や能力を有する法人であり、且つ知識や能力を有する担当者が配置され、履行が担保される実施体制となっているか。	30
		スケジュール	本業務を遂行できる、実効性のある計画的なスケジュールとなっているか。	15
提案評価 (135点)	理解度	本業務の意義	資源の有効利用及び製品等の付加価値創出に結びつく独自の視点を持った提案となっているか。	30
	実効性	栽培実証	ぶどうの栽培からワイン製造までの過程を理解した上での、市内農家と連携し且つ再資源化肥料を用いた実効性のある手法となっているか。	30
		染物実証及び製品サンプル作成	天然繊維への染色過程を理解した上での実効性のある手法であり、仕様書の要件を満たした製品サンプルを作成できるか。	30
		販売手法及び需要調査	付加価値を生み出し且つビジネスモデルとしての実現可能性を検討できる手法となっているか。	30
	イベント開催	本事業に関連したサーキュラーエコノミーへの関心が高まるもので且つ継続開催が可能な内容となっているか。	15	
価格評価			(1-見積金額÷提案上限額) × 配点 ※ 小数点第一位を四捨五入	10

### (採点)

評価	良	可	不良
得点	15点	10点	5点

※ 配点が30点となる項目は、各評価基準の得点を2倍する。